

ホルムアルデヒド放散等級区分

**F☆☆☆☆**

居室内で無制限に使用できます

**JIS A 6909**

建築用仕上塗材  
可とう形改修塗材E  
上塗材 耐候形1種

※弾性を除くツヤ有りのみ適用となります。

水性1液架橋型低汚染リアルハイブリッドシリコン樹脂塗料

# ハイパービルロック セラ

環境対応  
超低汚染  
高耐候性

ラジカル制御タイプ

**ROCK PAINT**

従来のアクリルシリコン樹脂を凌駕する高性能かつ多機能なラジカル制御タイプのリアルハイブリッドシリコン樹脂塗料「ハイパービルロックセラ」を開発しました。  
ハイパービルロックセラは建物をキレイに美しく彩り、様々な劣化要因から建物を守ります。

## 特長

- 1 超低汚染性**  
【独自のセルフクリーニング技術】  
独自のセラミック技術・帯電防止モノマーによる汚染防止&セルフクリーニング効果により超低汚染性能を発揮。
- 2 高耐候性**  
【長期にわたり建物を守る】  
HALS(ラジカル安定剤)&特殊コーティングチタン顔料ならびにリアルハイブリッドシリコン樹脂により飛躍的に耐候性が向上。
- 3 メンテナンスコスト節約**  
【塗り替えサイクルの延長】  
従来品に比べ高耐候性の為、塗替え改修のサイクルを延長できます。
- 4 作業性・仕上がりが良し**  
【光沢が良く、上質な仕上がりに】  
ローラーの転写性にすぐれ軽い塗りごちを実現。セルフレベリング性能を高め従来の水性塗料にない高光沢を発揮します。
- 5 防藻・防カビ性**  
【薬剤の包剤効果】  
水に不溶な強力防藻・防カビ剤を包剤化特殊成分により、均一に分散することに成功。また風雨による流出が発生せず、長期間持続性を発揮。

## 耐汚染性

〔雨筋汚染試験〕

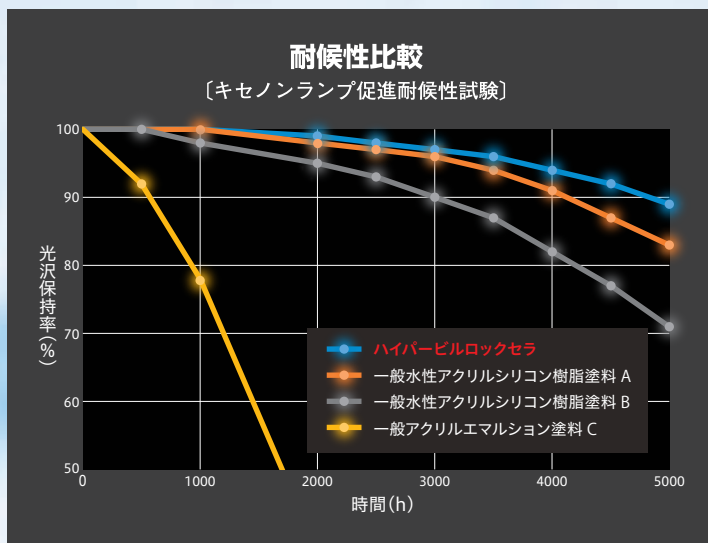


ハイパービルロックセラ

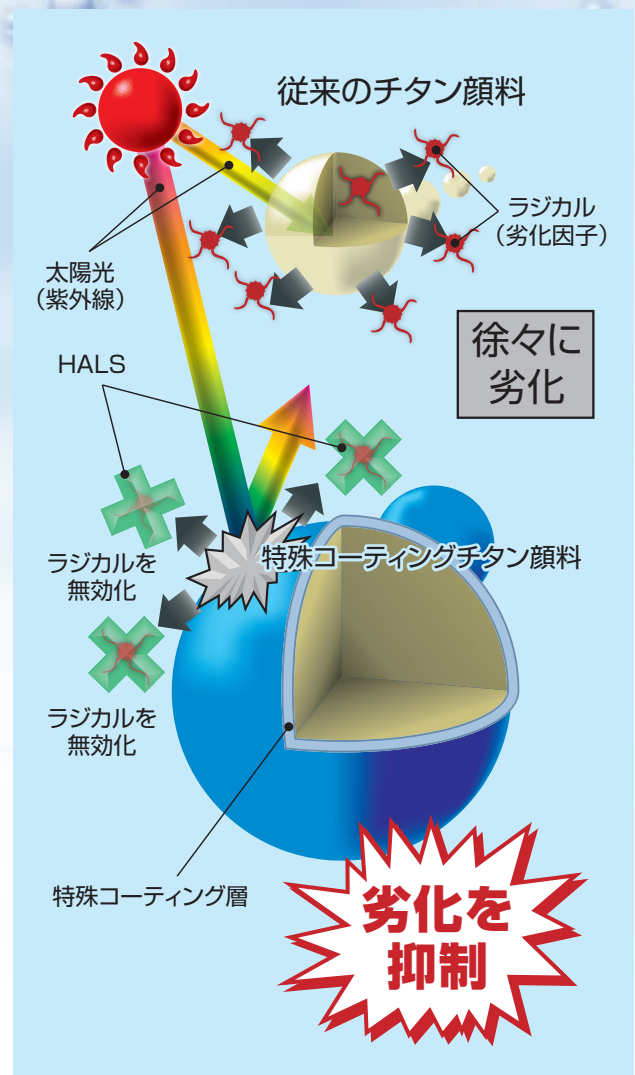
市販品A

市販品B

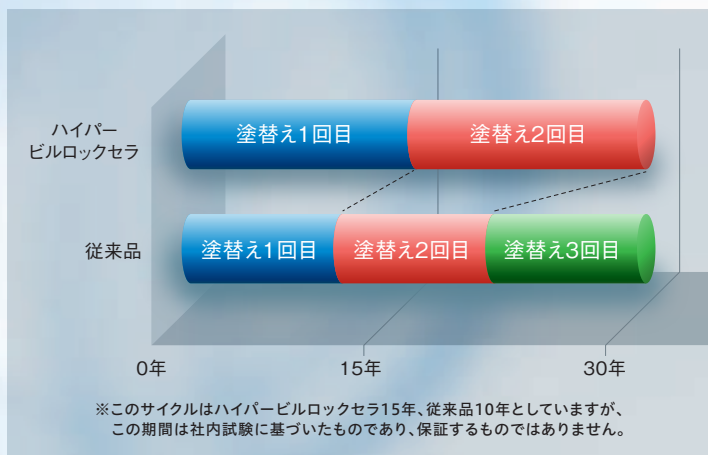
## 高耐候性



## 高耐候性メカニズム



## メンテナンスサイクルの比較



## 塗装仕上用提案色

下記40色の提案色は日本の建物壁面によく使われている実用性の高い人気色です。



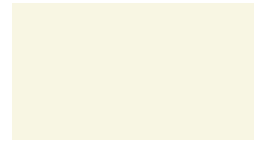
↑ RP-N90



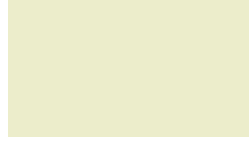
↑ RP-220 (7.5Y9/1)



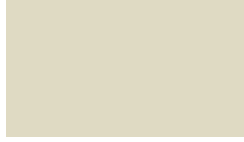
↑ RP-216 (CW111)



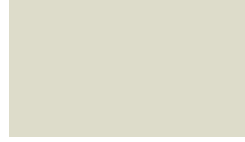
↑ RP-212 (5Y9.2/1)



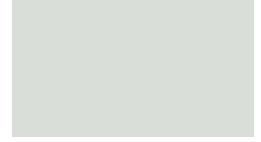
↑ RP-210 (5Y9/2)



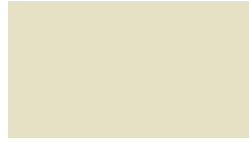
↑ RP-204 (2.5Y8.5/1.5)



↑ RP-213 (5Y8.5/1)



↑ RP-311 (CW56)



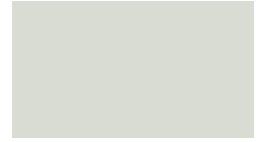
↑ RP-201 (CW710)



↑ RP-200 (CW331)



↑ RP-230 (10Y8/1)



↑ RP-310 (5GY8.5/0.5)



↑ RP-215 (5Y8.5/3)



↑ RP-130 (10YR8/2)



↑ RP-202 (2.5Y8/1)



↑ RP-N80 (N8)



↑ RP-205 (2.5Y8/4)



↑ RP-132 (10YR7.5/2)



↑ RP-214 (5Y7.5/1.5)



↑ RP-N75 (N7.5)



↑ RP-100 ※ (2.5YR7/6)



↑ RP-203 (2.5Y7/2)



↑ RP-211 (5Y7/1)



↑ RP-131 (10YR7.5/0.5)



↑ RP-020 (7.5R7/6)



↑ RP-110 (5YR7/4)



↑ RP-137 (10YR6.5/2)



↑ RP-N70 (N7)



↑ RP-231 (10Y7.5/4)



↑ RP-120 ※ (7.5YR7/4)



↑ RP-135 (10YR6/1)



↑ RP-630 ※ (10B5/2)



↑ RP-320 ※ (7.5GY6/2)



↑ RP-134 (10YR6/4)



↑ RP-133 ※ (10YR5/1)



↑ RP-N50 (N5)



↑ RP-810 (5P8/2)



↑ RP-121 ※ (7.5YR5/2)



↑ RP-030 ※ (10R3/3)



↑ RP-255 ※

※ 印の色の価格は割高となります。

(注) ●この見本帳は紙に塗装されていますので、実際の塗料に比べ色・光沢に差異があります。色彩については塗り板等で確認してからご注文ください。

また、塗料価格は色によって異なります。

●広い面積を塗装する実際の現場施工の場合、色・光沢が見本帳と異なって見える場合があります。

●色見本は保管条件、保管期間により、少しずつ変化していくおそれがありますので、有効期限(2026年6月)を守ってください。

# 標準塗装仕様

## ■外装材の塗り替え（コンクリート・モルタルなどの下地(可とう形改修塗材Eを使用)）

工程	使用塗料	希釈剤	塗装方法、希釈率(%)	塗装回数	標準塗付量 (Kg・m <sup>2</sup> ・回)	標準膜厚 (μm・回)	塗り重ね可能時間 (23℃)
下地調整	旧塗膜でハグレ部分、フクレ部分などはワイヤーブラシ、皮スキなどのケレン具を用いて完全に除去する。また、エフロレッセンス、チョーキング部分、汚れなどは高圧洗浄などで除去し、乾燥した清浄な面とする。						
下塗り	032-2106 ビニロックエラストックフィラーⅢ	水	ローラー : 5~10 エアレス : 5~10 砂骨ローラー : 1~5	1	0.3~0.5 0.8~1.5	—	4時間以上
上塗り	111ライン ハイパービルロックセラ 指定色	水	ハケ、ローラー : 5~15 エアレス : 10~20	2	0.12~0.18	—	2時間以上

注) ●下塗りの塗装用具は上記の他にリシンガン、タイルガンも使用できます。  
●ビニロックエラストックフィラーⅢを吹き付けける場合は、施工時の温度、希釈率、ガンの口径、塗付量などによって異なりますので、あらかじめ試し塗りを行い、条件を設定してから塗装してください。

## ■窯業系サイディングボードの塗り替え（弾性仕上げの場合）

工程	使用塗料	希釈剤	塗装方法、希釈率(%)	塗装回数	標準塗付量 (Kg・m <sup>2</sup> ・回)	標準膜厚 (μm・回)	塗り重ね可能時間 (23℃)
下地調整	旧塗膜でハグレ部分、フクレ部分などはワイヤーブラシ、皮スキなどのケレン具を用いて完全に除去する。また、エフロレッセンス、チョーキング部分、汚れなどは高圧洗浄などで除去し、乾燥した清浄な面とする。						
下塗り	032-2001 ロックSBフィラー	水	ハケ : 1~5 ローラー : 1~5	1	0.2~0.4	—	3時間以上
上塗り	111ライン ハイパービルロックセラ 弾性 指定色	水	ハケ、ローラー : 5~15 エアレス : 10~20	2	0.12~0.18	—	2時間以上

注) ●下塗りに他に033-1179ロックカチオンシーラーマルチⅢなどがありますが、他の水性塗料と混合するとゲル化しますので、ハケ、ローラーなどの塗装用具の共用は避けてください。  
●劣化が進行している場合は下塗り塗料としてユメロックシーラー(2液塗)を使用してください。  
●光触媒処理をはじめ、無機系、フッ素コート処理などのサイディングボードにはハイパーシーラーエボを下塗りとした仕様もありますので、最寄りの営業所へお問い合わせください。

※仕様書の数値は標準的な塗装を行う際のものを、塗装時のロスを考慮に入れた数値です。素地の状態、気象条件、塗装方法などにより多少異なる場合があります。また上記以外の塗装仕様につきましては、最寄りの営業所にお問い合わせください。

# 施工上の注意事項

- 塗る面のコ、カビ、こけ、油分、枯れ葉などの汚れや、はがれかかった塗膜はよく取り除いてください。
- 新しいコンクリート、モルタルなどのアルカリ質素材は、含水率10%以下、pH9.5以下になるまで十分に乾燥させてください。
- 気温が低いときや、湿度が高い場合には、完全な塗膜ができにく十分な性能を発揮できませんので、気温5℃以下、湿度85%以上の塗装は避けてください。
- 降雨、降雪、強風などの場合、また天候不良が予測されるときは外部の塗装は避けてください。
- 絶えず結露が発生するような場所、用途の使用は避けてください。
- 改修塗装の場合、脆弱な旧塗膜、汚れ、チョーキングなどはディスクサンダー、皮スキ、ワイヤーブラシなどで除去し、高圧洗浄を行った後、24時間以上乾燥させてください。(気温23℃、湿度65%の場合)
- 屋外セメント系塗料に段差や穴などがある場合は、セメントフィラーを用いて不陸調整を行ってください。また吸い込みの多い面などを塗る場合は、各種ロック建築シーラーで適切なものを使用し、あらかじめ下塗りしておいてください。
- エルメシコパテの外部での使用は避けてください。
- 旧塗膜が活版の場合、表面荒らしが必要な場合があります。またフッ素塗料への塗替えには使用できません。
- 改修塗装の場合、素地の種類によっては、塗膜不良となることがあります。あらかじめ適切な処理を行い、試し塗りをおすすめします。
- 旧塗膜が弾性系の塗膜(弾性リシン・弾性スタック)やアクリル樹脂エナメルなどの場合、すでにふくれが発生していることがあります。そのまま塗装するとふくれが拡大することがありますので、ふくれ箇所は完全に除去してください。
- 蓄熱しやすい建材(軽量モルタル、ALC、窯業系サイディング、その他断熱性が付与された建材など)を使用した高断熱型住居の外装を塗装する場合、状況により蓄熱、水分、素地、下地の状態、塗装環境など複数の条件が重なること、素地の変形、塗膜のふくれ、はがれなどが発生することがあります。詳しくは最寄りの営業所へお問い合わせください。
- シーリング材への塗装は、シーリング材の種類、劣化度により付着不良、取崩れなどを起こしたり、表面が汚れてくる場合がありますので塗装は避けてください。やむを得ず塗装する場合は、シーリング材が完全に硬化後、シーリング材用プライマー「ロックンタックプライマーS」を塗装してください。またプライマーで処理してもシーリング材の種類によっては汚れ、付着不良、剥離、取崩れが発生する場合があります。
- サイディングボード表面に反り、うねりが発生している場合は、ビスの増打ちなど状況に応じた補修を行ってください。また補修が困難な場合はボードの張り替えをご検討ください。
- 下地、旧塗膜が脆弱な場合、また素材が強アルカリ性であることが予想される場合は、弱溶剤型シーラーを使用してください。また改修塗装で弱溶剤型のシーラーを使用した場合、旧塗膜の種類によっては溶剤の影響により、ふくれ、ちぢみなどが発生することがありますので、試し塗りをした上で本塗装を行ってください。
- 押出成形板、GRC板などの新設塗装には、下塗り塗料としてハイパーシーラーエボを使用してください。種類によっては密着不良をおこす場合がありますので、試し塗りをすることを勧めます。
- サイディングボードは種類により塗料が付着しにくいものがありますので、塗装の際は事前に確認の上、施工してください。場合によってはハイパーシーラーエボを下塗りとした仕様もありますので、最寄りの営業所へお問い合わせください。
- ビニロックエラストックフィラーⅢを砂骨ローラーで塗装する場合には、最初に配り塗りを行い、その後ならし塗りし、塗り継ぎにムラが生じないように行ってください。
- 飛散防止のため必ず養生を行ってください。特に吹付け塗装の場合は注意してください。
- 塗装作業中および塗膜を乾燥させる際には、十分に換気を行ってください。弱溶剤型塗料を使用するときは火気厳禁してください。
- 塗装方法により多少色相が異なることがありますので、入り隅のハケ、ローラーの境目はできるだけ奥までローラー塗装してください。
- ハケ塗りとローラー塗りで仕上げが混在する場合、塗り肌が異なり、色相に差が出やすいので、ハケ塗り部分は希釈をやや少なめに塗装してください。
- 作業効率の低下及び塗りムラの原因となるため、スプレーノズルの先端は、時々水洗いをしてください。
- ハケ、ローラーなどの塗装用具は水性用を使用してください。
- ローラー塗りの場合、ローラー目は同一方向に揃えるように仕上げてください。ローラー目により、色相が異なって見えることがあります。
- ツヤ調整品では、塗り継ぎや補修の際にツヤむらが出やすいので、面を切って通して塗装してください。
- 使用後のハケなどの用具や、手に付いた塗料はできるだけ早く水で洗い落とすようにしてください。乾くと落ちにくくなります。
- 補修部分が目立つことがありますので、補修塗りの場合は同一ロットの塗料を使用し、同一の塗装方法、希釈割合で行ってください。
- 各工程の塗装間隔や塗装回数、塗付量、希釈率を守らなかった場合、塗膜不良となることがあります。また各工程において、当社指定以外の材料を使用した場合は十分な性能が得られないことがあります。
- 標準塗装仕様中の標準塗付量については、塗装時のロスを考慮に入れた数値です。
- 吸い込みの著しい部材については、標準塗付量より多くなる場合があります。
- シーラーを、吸い込みの著しい部材に塗装する場合、「ぬれ感が出るまで」を目安に塗装を行ってください。
- シーラー塗装後、使用方法の塗り重ね可能時間よりも早く上塗り塗装を行うと、ちぢみ、ひび割れ、塗膜不良を起すことがありますので、塗り重ね可能時間を守ってください。
- 下塗り乾燥後、素地との付着性をゲームテープなどで確認し、はがれか認められる場合は再度下塗り塗装を実施してください。
- シーラー類や各種上塗り塗料には防錆性がありませんので、金属でできている部分が錆びている場合、錆などを除去、ケレンし、適性のサビ止め塗料を下塗り後、上塗り塗装を実施してください。
- この仕様書はすべての工程においてホルムアルデヒド放散等級F☆☆☆☆を使用しています。F☆☆☆☆以外の材料(被塗物、素材を含む)を使用したり、塗装間隔、塗付量、希釈率を守らなかった場合、F☆☆☆☆仕様でなくなる場合がありますので注意してください。
- 塗装後24時間以内に降雨、結露があった場合、白化やシミが残る場合があります。また、低温時や高湿度、通風が悪い場合も白化やシミになる場合があります。

- 笠木、天端など長時間水が滞留する箇所では塗膜の白化、ふくれが発生する場合がありますので、養生シートの設置方法などに配慮し、換気を促してください。
- 塗色が濃彩色の場合、塗膜を強くすると色落ちしたり、ざざ波模様など凹凸のある下地の場合、上塗りの隠ぺい性が十分発揮できず、塗装回数が増えたりする場合がありますので注意してください。
- 2液型塗料は主剤と硬化剤を所定の配合比で混合し、可使用時間(ハイパーシーラーエボ:7時間ハイパーシーラーアクア:12時間[23℃])に使用してください。
- 硬化剤は、アンブリード性の少ない、主剤との相溶性にすぐれたアダプタイプですが、施工時及び硬化するまでの間、低温(5℃以下)になる箇所への使用はできません。
- 低汚染性については、被塗物の種類や建物の形状、施工後塗膜が十分に乾燥する前および乾燥して初期の段階で天候(気象)不良であった場合、その効果が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。
- 防藻・防カビ効果は繁殖を抑制するため、既に発生している被塗面には、下地処理として除去および防藻・防カビ処理剤などで殺菌処理した後、塗装してください。
- ドアパッキンや経路材など可塑性を含むプラスチック製品に乾燥した塗膜が接触したり、直接塗装を行ったりと塗膜が軟化することがあります。そのような箇所への塗装は避けてください。
- カウンター、テーブル、いす、棚、床等への塗装は避けてください。
- 上塗りに鮮やかなエロ系、レッド系、ブルー系、グリーン系の塗色で仕上げる場合、塗膜の隠蔽性が弱い傾向にあるため、先に隠蔽性のよい灰色(近似色)で下塗り塗装した後、上塗り塗装してください。
- このカタログに記載されている下塗り塗料などの詳細な使用方法については、各々のカタログをご参照ください。

# 関連下塗り塗料

品名	容量	消防法
ロックSBフィラー	15kg	非
ロックカチオンシーラーマルチⅢ	15kg	非
ハイパーシーラーアクア	15kgセット	非
ハイパーシーラーエボ(透明・ホワイト)	15kgセット	2石
ビニロックエラストックフィラーⅢ	16kg	非

● 上記の関連下塗り塗料は、すべてF☆☆☆☆です。

## 安全・衛生及び取扱い上の注意

### 【製品の危険・有害性】

危険性のほとんどない製品ですが、目や呼吸器に入ることは避けてください。

### 【救急処置】

- 目に入った場合には、多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 誤って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 息が苦くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けてください。
- 皮膚に付着した場合には、多量の水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化のあるときは医師の診察を受けてください。

### 【取扱注意事項】

- 塗装中、乾燥中ともに換気をよくしてください。
- 取扱い中は、できるだけ皮膚にふれないようにし、必要に応じて、保護手袋、保護メガネ、保護マスクを着用してください。
- 取扱い後は、手洗い及びうがいを十分に行い、作業衣などに付着した汚れをよく落とすしてください。
- よくふたをして直射日光を避け5℃以上40℃以下の安全でかつ子どもの手の届かない場所に保管してください。
- 容器は中身を使い切った後破棄してください。
- 廃棄の際は関係法規に従って産業廃棄物処理業者に委託して処理してください。

### 【施工後の関係について】

- 本製品群は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引渡しの際は、施主に対して安全性に十分に注意を払うようにご指導ください。
- 不特定多数の方が利用する施設を施工した場合は、ペンキ塗りたてであるなどの立看板等を設置し、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接する事のないようにご配慮願います。
- 詳細につきましては、製品個々の容器に記載のPL法関連事項と安全データシート(SDS)をご参照ください。

# ロックペイント 株式会社

東京営業部 〒136-0076 東京都江東区南砂 2-37-2  
TEL(03)3640-6000 FAX(03)3640-9000  
札幌営業部 〒003-0011 札幌市白石区中央一丁目4-3-48  
TEL(011)812-2761 FAX(011)812-9304  
仙台営業部 〒983-0044 仙台市宮城野区宮千代2-31-11 遼正ビル201  
TEL(022)349-8677 FAX(022)283-3255  
西関東営業部 〒252-0131 神奈川県相模原市緑区西橋本1-15-16  
TEL(042)700-3111 FAX(042)700-3112

大阪営業部 〒555-0033 大阪市西淀川区姫島3-1-47  
TEL(06)6473-1650 FAX(06)6473-1000  
名古屋営業部 〒454-0059 名古屋市中川区福川町1-1-1  
TEL(052)351-6500 FAX(052)361-7433  
岡山営業部 〒701-1134 岡山市北区三和1000番34  
TEL(086)294-1201 FAX(086)294-6966  
福岡営業部 〒811-0119 福岡県糟屋郡新宮町緑ヶ浜3-2-1  
TEL(092)962-0661 FAX(092)963-1241

URL <https://www.rockpaint.co.jp>

● 本見本帳の内容については、予告なしに変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。また記載内容について、法律で認められる範囲を超えての転載・複製を禁止します。



## 販売店

2023.2.15000.186N [111-M02]